

# ショートステイの対象拡大を

無所属  
宮宅 良



山口理事 **A** 人材の確保が不可欠



▲町デイサービスの2階でショートステイ実施

**問** 町が実施しているショートステイの障害種別を、身体障がい者に限定し続けることは合理的妥当性を欠き、レスパイト(息抜き)サービスの観点からも、対象者を拡大することが必要である。段階的に知的障がい者も対象とすべきでは。  
**答** 知的障がい者への対応は、一人ひとりその方に応じた対応が求められる。何よりも安全にお預かりすることが一番大切である。適切に対応するためには、やはり人材の確保が欠かせない。

## 健康いきいきセンターへの指導を

山口理事 **A** 必要に応じ指導している

**問** いきいきセンターについて、地元自治会から要望が出され町も回答しているが、解決には至っていない。町として指導力を発揮することや施設周辺の環境整備などの対策が求められている。町と指定管理者の間で行われる連絡調整会議において、継続的に管理運営指導を行っているのか。  
**答** 毎月1回、連絡調整会議を開催し、施設状況や課題などを共有しており、必要に応じて管理運営指導を行っている。  
**問** 玄関前やセンター西側の有効活用、駐輪場も利便性向上のため、再構築すべきでは。  
**答** 駐輪場が狭く使い勝手が悪いとのこと意見は聞いている。検討していく。  
**問** 住民福祉に寄与する管理運営が重要では。  
**答** 次回、指定管理者選定時の評価項目として検討する。

# 広域ごみ処理事業の今後は

町長 **A** ごみ有料化は考えていない



日本共産党  
田中 久子



▲的確な対応の収集作業員の皆さん

## 職員の雇用条件の改善を

**問** 町のごみ減量化目標は進んでいるのか。  
**答** 平成28年度の排出量は9310トンで目標量まで0、3%の減量が必要である。  
**問** 住民サービスが低下しないための施策は。  
**答** 可燃・不燃・粗大ごみを今の施設で一時的に受け入れる方法を検討している。  
**問** ごみ有料化の考えは。  
**答** 有料化は現在は考えていない。

**問** 小学校の英語教育の対応は。  
**答** 数年前から英語教育推進リーダーの研修を実施している。  
**問** 6年生までの町独自で35人学級の考えは。  
**答** 5、6年生の35人学級編成をすることは考えていない。  
**問** 幼稚園職員採用について、実務経験者の受験資格緩和の考えは。  
**答** 昨年は採用試験の年齢要件を33歳までに緩和した。公平性を確保し、町が必要とする職員が採用できるように要件を考慮したい。

# 学習時間の確保対策は

政風会  
岡田 千賀子



教育長 **A** 夏休み短縮も検討する



▲朝の読書タイム

**問** 「ゆとり教育」の見直しにより学習内容が増加している。英語と道徳の教科化による授業時間の増加予定は。  
**答** 小学校では平成32年度、中学校では平成33年度から新学習指導要領が実施される。小学校英語は、3、4年生では新たに年間35時間の外国語活動が実施され、5、6年生は教科として現行の年間35時間から70時間に増加する。道徳は増加しない。  
**問** 既に他市町でも学習時間の確保や教職員の長時間勤務の是正策として、夏休み短縮も検討する。  
**答** 授業時間を増やすことで、授業内容への理解が深まり、児童生徒の学習環境の充実や学力向上に繋がると考える。学習時間の確保対策は、平成30年度より「播磨町教育課程検討審議会(仮称)」を立ち上げ、望ましい教育課程の姿を検討していく中で、平成32年度の実施を目的に夏休み短縮についても議論を深めていく。

## 男女混合名簿の推進を

教育長 **A** 否定するもではない

**問** 性の多様性や男女共同参画の観点からも男女混合名簿の推進を。  
**答** 現在町の学校では実施していないが、性別にとらわれず個性を尊重するひとつの方法であり、その導入を否定するものではない。

# 歩道のセミフラット化は

新政会  
神吉 史久



赤田理事 **A** 歩道すべてはできない



▲切り下げにより歩きにくい歩道

**問** 古くから整備されている歩道はマウンドアップ型(車道より高くなっている歩道)で、車両の出入口の傾斜などで歩きにくい。歩きやすくするために、セミフラット型(車道との高さがあまり変わらない歩道)への改修が望まれる。改修の基本方針は。  
**答** 既設歩道については、老朽化対策の道路維持に合わせ、全てをセミフラット化するのはなく、状況に応じて車道と歩道のすり付け部(交差点などの歩道の起点)の段差と勾配の解消や舗装材の変更を実施する。

## 保育所の整備は

町長 **A** 新設保育所整備を進める

**問** 待機児童解消のために、小中学校の空き教室(余裕教室)を活用して保育所を整備できないか。  
**答** 余裕教室を保育所として整備するには、園児の生活に対応した改修など課題があり考えていない。待機児童の解消は新設保育所整備で対応する。

## 避難所の井戸整備は

岡本理事 **A** 新設整備は考えていない

**問** 災害時には、生活用水の確保が大きな問題となる。避難所となる学校などへの井戸整備の調査研究状況と考え方は。  
**答** 浅井戸設置には250万円程度と事前調査費用が必要。新設には大きな費用が掛かるので、プール、河川、ため池、民間の既設井戸などの活用で対応する。